

平成 27 年 6 月 30 日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

～地震災害に強いまちづくりの実現に向けて～

## 「牛久保安心・安全なまちづくり協議会」設立総会の開催

「地域・大学・市」の協働による密集市街地の防災まちづくりを実施します

市では、地震災害時に大きな被害が想定される木造密集市街地の改善を図るため、平成 26 年度から密集市街地整備事業を実施しています。昨年度は、市街化区域内の災害危険地域の調査に基づき、地域が主体的に防災まちづくりに取り組むモデル地区として牛久保地域を選定しました。

このたび、牛久保地域において、連区から選出された住民で構成する「牛久保安心・安全なまちづくり協議会」の設立総会を開催いたします。今後は、協議会とともに、協力機関である豊橋技術科学大学と市の三者が協働し、地域主体の防災まちづくりを進めていきます。

### 記

#### 密集市街地とは

老朽化した木造の建築物が密集しており、十分な公共施設（道路・公園・広場など）が整備されていない、また、空き地なども少ない状況であり、地震や火災が発生した際に、延焼防止や避難のために必要な機能（防災機能）が確保されていないと考えられる市街地をいいます。

#### 牛久保地域の状況



#### 1 「牛久保安心・安全なまちづくり協議会」設立総会

- (1) 日時：平成 27 年 7 月 4 日（土） 午後 7 時 00 分～
- (2) 会場：牛久保公民館 1 階集会室

## 2 豊川市密集市街地整備事業の概要【資料1】

- (1) 事業開始 平成26年度～
- (2) 事業内容（平成27年度以降は予定）

### 平成26年度（実績）

- ①災害危険地域の調査【対象区域：市街化区域内（159地区・約3,334ha）】
  - ・抽出地区：6地区・約112ha（対象区域の約3.4%）
  - ・実施主体：豊橋技術科学大学（東三河地域防災協議会の共同研究）
  - ・市街地の危険性評価「延焼危険性と避難困難性」の実施
- ②住民意向調査（アンケート調査）及び抽出地区別の評価の実施
- ③モデル地区の選定 牛久保地域

### 延焼危険性と避難困難性

- 延焼危険性：火災発生時に延焼が及ぶ可能性が高い割合
- 避難困難性：一次避難地（又は避難所）への到達が困難な可能性が高い割合

### 平成27年度（牛久保地域で実施）

- ①防災まちづくり講演会の開催  
日時：平成27年7月28日（火） 午後7時00分～  
会場：牛久保公民館 1階集会室  
対象：牛久保連区にお住まいの方（参加無料、当日会場へ）  
講師：国立大学法人豊橋技術科学大学 理事・副学長 大貝 彰  
演題：「住民主体の防災まちづくり～防災性能評価を理解し、まちのハードとソフトの課題を改善する～」
- ②ワークショップ形式による検討（3回）及び地区の課題取りまとめ
- ③「まち歩き調査」の実施
- ④「コミュニティ防災マップ」の作成  
※協力機関：豊橋技術科学大学（東三河地域防災協議会の共同研究2年目）

### 平成28年度

- ①「まちづくり計画」の立案及び整備手法の決定（ハード事業）
- ②避難経路や地区防災計画（マニュアル）等の見直し（ソフト事業）

### 平成29年度～

公共施設整備（道路拡幅、公園整備等）の実施とソフト事業の継続実践

#### 【お問合せ先】

豊川市役所 建設部 都市計画課 計画係 増田・岩本  
TEL：0533-89-2169 Eメール：tokei@city.toyokawa.lg.jp